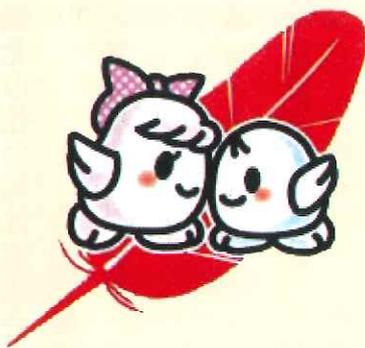


- 第十二回仙北市社会福祉大会……………2
- 赤い羽根共同募金運動……………3
- 災害ボランティアセンター活動報告……………4
- 社協いきいきだより……………5
- 角館寿楽荘より……………6
- かくのだて桜苑より……………7
- にこにこもも園より……………8
- ひのきないことも園より……………9
- 仙北市社会福祉協議会
相談窓口のご紹介……………8
- 心配ごと相談日程……………9
- 善意・ボランティアセンターについて……………10
- 社協からのお知らせ……………9
- 人事異動……………10
- 各種行事……………10

第十二回仙北市社会福祉大会開催



9月19日、仙北市社会福祉大会が角館交流センターにおいて開催され、式典、福祉講話、アトラクションの披露がありました。
(関連記事2ページ)



赤い羽根共同募金

平成29年度赤い羽根共同募金運動が始まりました

～ やさしさを 募金にこめて とどけたい ～

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。みなさまにご協力いただいた募金は、地域福祉・在宅福祉活動など幅広く活用されます。このように共同募金は地域福祉を推進する目的で誰もが安心して暮らせるまちづくりのために財源面から支援する重要な役割を担っています。

また、12月1日から始まる歳末たすけあい募金運動は、地域で福祉の支援を要する方々が安心して元気に新年を迎えられるよう実施いたします。趣旨をご理解の上、1世帯300円を目安額としてご協力を広く市民の方々にお願い申し上げます。募金につきましては、地域の募金ボランティアの方がお伺いいたします。

～ 主な使い道 ～

●ふれあいいきいきサロン～

最寄りの会館や公共施設を会場に、地域の皆さんに参加いただき、介護予防を図りつつ、住民同士のつながりを深める事業で地域の活性化にもつながります。

- ☆角館地域：かたるべ会
- ☆田沢湖地域：ミニデイサービス
- ☆西木地域：いきいきサロン

●ネットワーク事業～ 民生委員、協力員、関係機関と連携し、対象者の安否確認など地域で安心して暮らせるよう見守り活動を推進します。

●相談援助事業～ 心配ごと相談事業や心配ごと専門員相談所を開設し、日常生活の中での様々な相談に応じます。

●福祉教育～ 社会福祉に対する理解と関心を高めるため、福祉体験により福祉活動を推進します。

●子育て支援事業～ 就学前のお子さんご家族を対象に料理教室、リズム体操などを行いながら、子育てグループの形成・情報交換を推進していきます。

●社会福祉大会～ 社会福祉大会を通じて福祉や社会福祉協議会への理解を深め、福祉の意識高揚を図っています。

●ボランティア育成事業～ ボランティアの推進、災害ボランティアセンター設置訓練、ボランティア同士の交流を図り、研修等を行います。



赤い羽根共同募金をもっと詳しく!

●赤い羽根共同募金はいつから始まったの?

終戦後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。当初は戦後復興として、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援する活動でしたが、「社会福祉事業法(平成12年社会福祉法に改正)」という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に活用されてきました。そして今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動としています。赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

●さまざまな募金方法があります。

- 「戸別募金」：ボランティアの皆さんが、地域の各家庭を訪問して募金を呼びかける。
 - 「街頭募金」：街角や人の集まる場所で募金を呼びかける。
 - 「法人募金」：企業を訪問して寄付を依頼する。
 - 「職域募金」：企業の従業員の方に職場での募金を依頼する。
 - 「学校募金」：学校において児童・生徒に募金を呼びかける。
 - 「イベント募金」：イベントを企画して募金を呼びかける。
- その他、さまざまな方法でボランティアの方々のご協力をいただいています。

●なぜ、赤色の羽根?

昔、ヨーロッパやアメリカで赤い羽根が「善い行い」や「勇気」の象徴とされてきたことによると言われています。羽根を使った募金は7種類あります。

- 赤…共同募金
- 青…水難救助
- 黄色…医療バンク(腎臓移植などの支援)
- 緑…緑化運動
- 水色…水難遭いの援助・海岸の環境美化
- 黒…炭鉱事故・遺族の支援

●災害にも共同募金は使われています。

大規模な災害が起こった際のそなえとして、都道府県共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。



仙北市社会福祉協議会

第十二回仙北市社会福祉大会が開催されました

テーマ「一人ひとりが輝いて暮らせる福祉のまち」
市民が主役の支え合いと協働のまちづくり

平成二十九年九月十九日、角館交流センターにおいて第十二回仙北市社会福祉大会が開催され、社会福祉に貢献された方々へ仙北市社会福祉協議会会長表彰と感謝状が贈呈され、秋田県共同募金会会長表彰の伝達が行われました。(下記参照)

続いて仙北市地域おこし協力隊の尾崎美由紀さんによる「仙北市の素敵なひとびと」と題した福祉講話がありました。尾崎さんは北海道生まれ、熊本県育ちで結婚後、仙台市で仕事をされたのち、以前訪れた仙北市の人々との素敵な出会いがきっかけとなり、地域おこし協力隊に応募し着任されました。将来子どもが生まれたとき、離れて暮らす両親、また義理の両親、今後どのような関係性を構築していくのか、尾崎さんの目線での貴重な

お話をいただきました。アトラクションでは、コール若葉の皆さんが美しい歌声を披露し、最後には「ふるさと」をみんなで合唱しました。

少子高齢化、人口減少が進行する中で、地域の課題も社会的孤立や生活困窮など多様化・複合化してきています。そんな中で、住民主体による地域の実情に応じた新たな支え合いの仕組みづくりと、生活福祉課題の発見と解決に向けた取り組みが求められます。誰もが住みなれた地域で自分らしくいきいきと暮らせるよう、関係機関およびボランティアとの連携と協働により、より良いまちづくりを目指します。

仙北市社会福祉協議会

会長表彰受賞者(敬称略)

◎社会福祉奉仕者功労表彰

- 佐藤 喜裕(角館)
- 坂本 昇(田沢湖)
- 嶋田 チエ子(西木)

◎社会福祉事業功労表彰

- 高杉 雅昭(角館)
- 伊藤 栄吉(角館)
- 辻谷 隆助(角館)
- 高橋 幸美(角館)
- 佐々木 保幸(田沢湖)
- 高橋 共榮(田沢湖)
- 菊田 順(田沢湖)
- 高橋 和彦(田沢湖)
- 高橋 一夫(田沢湖)
- 山本 政欣(角館)
- 戸澤 のり子(角館)
- 西宮 きちよ(角館)
- 信田 隆昭(田沢湖)
- 長谷川 善樹(田沢湖)
- 佐藤 信隆(田沢湖)
- 佐々木 重悦(田沢湖)
- 田村 修良(田沢湖)

◎会長感謝状

- 佐藤 清雄(田沢湖)

秋田県共同募金会

会長表彰(敬称略)

◎社会福祉奉仕者功労表彰

- 西宮 陽助(角館)
- 高根 美穂子(角館)
- 小松 秀則(角館)
- 藤村 善吾(田沢湖)
- 藤川 新造(田沢湖)
- 佐川 隆雄(田沢湖)
- 阿部 久昭(西木)
- 三浦 謙一(西木)
- 草薨 貴美子(角館)
- 田中 榮(角館)
- 山本 政夫(角館)
- 菅原 良(角館)
- 千葉 ミヨ(田沢湖)
- 藤村 幸子(田沢湖)
- 進藤 エミ子(田沢湖)
- 門脇 明(西木)



高橋文明さん（秋田市）

昨年の熊本地震の際、災害ボランティア活動をしに行き、主に支援物資の仕分けをしました。今回の大雨災害でも自分に何かできないかと思い参加しました。



秋田ノーザンハピネッツ 田口成浩選手

災害ボランティア活動は初めてで、災害のあった現場を見て言葉を失いました。少しでも力になればと思い、現場に入りましたが、被災された方に「ありがとう。難儀かけます」と声をかけてもらい、その暖かい気持ちに、かえって自分がパワーを貰いました。



この度の秋田県大雨災害におきまして、仙北市災害ボランティアセンターには、多くの企業・団体・個人の皆様方から支援物資等のご提供を頂きました。皆様からの支援物資は、災害ボランティア活動を始め、仙北市災害ボランティアセンターの運営に活用させて頂きました事をご報告致します。お名前をご紹介するとともに、ご支援下さいました皆様へ厚く御礼申し上げます。

氏名・団体名	支援物資
仙北市 様	ミネラルウォーター
六右衛門接骨院 藤川陽子 様	高圧洗浄機（無償借用） マスク ポリ袋 ゴム手袋 ポリバケツ タオル ウェットタオル
株式会社セゾン情報システムズ 総務部 様	タオルセット
株式会社大塚製薬工場 OS-1 事業部 様	OS-1（経口補水液）
SOMPO ホールディングス株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 秋田支店大仙営業所 様	ミネラルウォーター 栄養ドリンク
西長野地区長 菅原宗一郎 様	栄養ドリンク
ミドリ安全株式会社 様	防塵マスク 軍手、ゴム手袋 熱中症対策用品

平成29年7月22日、23日の仙北市大雨災害における 仙北市災害ボランティアセンター活動報告

災害ボランティアセンターとは

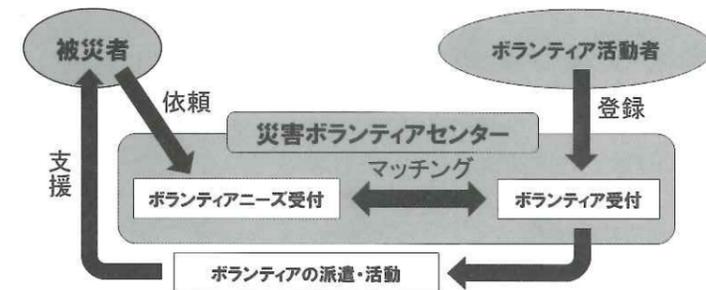
1. 災害ボランティアセンターの設置

平成15年3月に秋田県が制定した「秋田県災害ボランティア活動指針」により、被災地の市町村および市町村社会福祉協議会に現地災害ボランティアセンターを設置することが記されており、また、社会福祉協議会では平常時からボランティアセンターを開設していることから、社会福祉協議会が運営主体となり災害ボランティアセンターを設置します。

※災害ボランティアセンターは、市町村社協が運営主体となりますが、災害発生時被害の規模によっては、被災地や県外からのボランティアや、県内外のNPOによって運営される場合もあります。

2. 災害ボランティアセンターの役割

災害発生時には、災害救助や復旧事業を公的機関が担うなかで、災害復旧におけるボランティアの活動はとも大きな力であり、不可欠な存在となります。



災害ボランティアセンターでは、災害による被害が発生した際に被災者の自立と生活支援に資することを目的として、県内外から駆け付けるボランティア活動者の力を被災者の生活支援につなぐ役割を担います。

大雨災害における仙北市災害ボランティアセンター活動記録

- 7月22日、23日にかけて記録的な大雨が発生。一部地域へ避難指示発令。
- 7月23日 各避難所へ職員を派遣し支援にあたる。市内の一人暮らし、高齢者世帯へ安否確認。
- 24日 災害対策検討会を開催し、災害ボランティアセンター開設を決定。町内会長、仙北市へ協力を依頼。仙北市より被害状況・被害世帯の情報を収集。
- 25日 社協職員が被害の集中している地域を訪問。ニーズ調査を実施。7戸の支援要請を確認 26日よりボランティアの受入れを決定。
- 26日 ボランティア受付開始 活動を実施
- 27日 活動を実施
- 28日 活動を実施
- 29日 活動を実施
- 支援要請のあった7戸の活動を終了
- 31日～8月2日 被災地域のフォローアップ活動を実施 前回活動した自宅よりニーズあり
- 8月3日 活動を実施
- 4日 フォローアップによるニーズ調査終了 センターを閉所する



- ◆支援戸数/7戸
- ◆ボランティア延べ人数/個人13人 団体6団体48人
- ◆主な活動内容/家具運搬、畳上げ、床下の泥排出、床板洗浄、がれき撤去等

かくのだて桜苑より

9月25日に桜苑の敬老会を行いました。
お二人の方がそれぞれ傘寿・百寿を迎えられ、仙北市と秋田県より祝い金と記念品をいただきました。
式の後には玉扇会の皆さんから新舞踊を披露していただき、大いに盛り上がり「また来てけれなあ」と別れを惜しんでいました。



角館寿楽荘より



寿楽荘では、誕生月ごとに参加希望者を募って「誕生者買い物ツアー」を行っております。一番人気なのが100円均一コーナーです。思いおもしろいものを手にとって目を輝かせているみなさんでした。買い物後は昼食をおのおの好きなものを食べ、お喋りしながら楽しい時間を過ごしました。

にこにこ子ども園より



9月15日は、にこにこ子ども園の祖父母参観日がありました。それぞれのクラスで普段の生活や遊んでいる様子を見たり、3歳以上児が元気いっぱいの踊りを披露したりしました。大好きなおじいちゃん・おばあちゃんと過ごす時間はとっても楽しくて、笑顔がいっぱいの参観日になりました。見ている職員も、心がほっこり暖かくなった一日でした。

ひのきない子ども園より

9月21日、4歳児の子ども達が松葉地区の「まっぴこみっとサロン」におじゃましてきました。園からみんなで歩いていくと、おばあちゃんたちが笑顔でお出迎えてくれました。自己紹介をして、おばあちゃんたちと一緒に初めての卓球バレーにチャレンジしたり、おやつをいただいたりしながらふれあい、楽しいひとときを過ごしてきました。



社協 いきいきだより

角館支所

「地域がこころなつての三省まつり」



九月十六日、中川小学校を会場に三省まつりが行われました。全校生徒による学習発表があり、子どもたちのいきいきとした姿に会場が盛り上がり、また地域のみなさんの踊りやコーラスの発表も行われました。
お昼には中川婦人ボランティアの方々が収穫した野菜をふんだんに使って作ったとん汁が振舞われました。
また会場には絵画・盆栽・手工芸品や中川の貴重な資料や、昔のアルバムなどがたくさん展示されていました。



小学校を中心に地域運営隊、社協サポート委員会、婦人ボランティアが連携し実施している地域交流事業です。一人ひとりが地域を大切にする気持ちが事業の盛衰と継続につながっています。

田沢湖支所

地域で支え合う仕組みづくり
先達地域



ティづくりを支援するとともに介護予防の推進を図ります。
世話人さんを中心にボランティアスタッフが先達地域では、これまで三回実施しております。



地域の方々が会館に集って健康体操やレクリエーションを行ったりすることで、住民同士のつながりを深め、元気な地域づくりを目指してすすめています。

西木支所

地域で支え合う仕組みづくり
小滝・吉田・相内地域

この度、秋田県社会福祉協議会から助成を受け、市内の旧町村ごとに地域を指定し、小地域で支え合う仕組みづくりを推進する事業として、西木町内では「小滝・吉田・相内」の地域をモデル地域として今年度から二カ年に渡って地域活動を行ってまいります。
月に一回、皆の顔を見て食事をしながらわいわい話つこをするのが楽しみで「毎日集まってほしいな」という声が聞かれています。



住み慣れた地域で安心して、健康でいきいきとした生活を送りたいという皆の願いに少しでも近づいために地域のつながりを深め、支え合いにより住みよいまちづくりをしていくために、皆さんも一緒に楽しんでみませんか。

これらの事業は、主に赤い羽根共同募金の配分金と、皆様からの社協会費により運営させて頂いております。皆様のご理解ご協力に、心より感謝申し上げます。

善意

平成29年4月1日～平成29年8月31日受付分

皆様の善意は、地域福祉推進の大きな力です。ありがとうございます。

- 【西木支所受付分】**
 西明寺婦人会 会長 佐藤真樹子 様
 信山寺住職 工藤智教 様 (大館市)
- 【田沢湖支所受付分】**
 茶たての清水を守る会 会長 青柳 征 様
 角館交流センター指定管理者 (株)東北ダイケン秋田支店 様
 大山秀男 様 (中菅沢)
- 【角館支所受付分】**
 角館町茶道連盟 会長 小原博子 様
 よねや商事株式会社 様
 〔総務課受付分〕

香典返し寄附金

- 【角館支所受付分】**
 倉田良英 様 (小勝田中川原)
 千葉宣彦 様 (藪田中村)
 菅原 裕 様 (東勝楽丁)
 〔田沢湖支所受付分〕
 大石忠一 様 (卒田荒町)
 大沢栄子 様 (田沢寺下)
 藤川 栄 様 (東前郷杉林)
 〔西木支所受付分〕
 布谷茂子 様 (松葉)
 門脇美以子 様 (門屋)
 佐藤春美 様 (小淵野)
- 【角館支所受付分】**
 天理教仙北支部 大友和子 様
 榎シバタ 柴田栄宜 様
 小林マリ子 様 (高屋)
 門脇策子社中 様
 旺棟会 代表 高橋利郎 様
 三山語りの会
 高橋英男 様・山室紀子 様
 フットケアボランティア
 武藤晴子 様・佐藤晴子 様
 角館町視覚障害者協会 会長 武田利美 様
 角館中学校JRC 様
 角館中学校オーケストラ部 様
 〔かくのたて桜苑受付分〕
 角館町母子寡婦福祉会 様
 門脇社中 代表 羽ヶ崎レイ子 様
 中川こみつと 会長 黒澤美鈴 様
 〔角館支所受付分〕
 佐々木一人 様
- 【角館支所受付分】**
 高橋洋子 様
 天理教仙北支部 大友和子 様
 大曲たばこ販売協同組合 様
 角館中学校JRC 様

物品寄付

このほか、匿名でのご寄付もいただけます。

仙北市ボランティアセンターをご存知ですか？

仙北市のボランティアセンターは仙北市社会福祉協議会本所、角館、田沢湖、西木の各支所内にあります。

◆事業内容

- ① ボランティア情報の提供・・・ボランティアに関するチラシ等の掲示、情報誌の発行(不定期)、活動紹介などを行います。(●市内ボランティア団体の活動状況の紹介 ●福祉ボランティア募集情報)
- ② ボランティアに関する相談・調整(コーディネート)・・・ボランティア活動をしたい人、ボランティアを必要としている人からの相談に応じ、活動したい人と必要としている人との仲立ちをし、ボランティア活動がスムーズに行えるようお手伝いします。
- ③ ボランティア講座・研修会の開催・・・ボランティア養成講座やボランティアに関する研修会やボランティア同士の交流会などを開催し、学びと交流の場を提供します。
- ④ ボランティアの普及・啓発・・・ボランティアに関する啓発イベント・学校や地域への出前講座や講師派遣などを行います。また、ボランティア・NPOに関する情報を収集し、広報に努めます。
- ⑤ ボランティア活動の支援・ネットワーク化の支援・・・グループの定例会やボランティア同士の打ち合せなどに必要な活動場所としてボランティアルーム・録音室などを貸出します。また、ボランティアグループの立ち上げやボランティア同士のネットワークづくりを支援します。
- ⑥ 災害時のボランティア活動・・・地震や水害などの大規模災害が起こったときは、被災者の支援を行う災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティアの活動を支援します。平常時には、行政や災害ボランティア団体との連携強化を図り、防災・減災のための啓発や災害ボランティア活動の普及啓発に努めます。
- ⑦ 福祉教育活動の推進・・・福祉について学び、思いやりの心を育てる場としての福祉教育の推進を目指し、学校、地域などでの福祉体験学習の相談・支援をします。
- ⑧ ボランティア保険の受付・・・ボランティア保険の情報や、ボランティア活動中の事故に備えて保険の加入手続きを行います。事故が起きた際の窓口として、保険会社との連絡調整を行います。

心配なこと・困っていることはありませんか？

仙北市社会福祉協議会 相談窓口のご紹介

仙北市社会福祉協議会が行う、心配ごと、困りごとに関する相談窓口をご紹介します。

相談無料

◎心配ごと相談所

- ◆毎月 1回～2回開催 角館・田沢湖・西木地区において開催(日程は下記のとおり)
- ◇地域の民生委員が相談員となって、地域や日常生活で抱える心配ごとに対応した助言をし、相談の内容によっては、関係機関と連絡を取り、解決の手助けをします。

◎心配ごと専門員相談所

- ◆年2回 8月・2月開催
- ◇司法書士、税理士、土地家屋調査士が相談員となって、相続や税金、借金、境界等法律問題の相談に、お答えしております。

◎仙北市自立相談応援センター 仙北市社会福祉協議会 本所、各支所

- ◆月曜日～金曜日(祝日除く) 8:30～17:00
- ◇生活困窮者自立支援法に基づき、生活や仕事などでお困りの方に対して、専門の相談員(相談支援員、主任相談支援員)が話を聴き、一人ひとりの状況に応じて相談や就労を含めた支援を行います。

※上記の相談窓口以外にも、社会福祉協議会本所、各支所において、ボランティアに関することや、介護に関すること、日常での困りごとに社協職員が相談をお受けしております。

◆月曜日から金曜日 8:30～17:15

心配ごと相談日程

地区	11月	12月	1月	2月	3月
角館地区	角館支所 午後1時～4時				
	11月9日	12月14日	1月11日	2月8日	3月8日
田沢湖地区	神代地区(神代出張所) 午後1時～4時				
	11月8日	12月13日	1月10日	2月14日	3月14日
	生保内地区(総合開発センター) 午後1時～4時				
	11月15日	12月20日	1月17日	2月21日	3月22日
西木地区	西木公民館 紙風船館 西木支所 西木公民館 紙風船館				
	午前10時～正午まで				
	11月20日	12月18日	1月15日	2月19日	3月12日



社協からのお知らせ

人事(異動・採用)

仙北市社協では、次のとおり職員の新異動・採用が行われました

《昇格》(十月一日付)

事務局長兼介護事業総合担当兼
仙北市ボランティアセンター所長
細川 義彦 (総務課)

次長兼西木支所長
門脇 美以子 (西木支所)

支所長補佐
赤上 尊人 (西木支所)

《異動》(十月一日付)

かくのだて桜苑 伊藤 弘昭 (総務課より)

●西木支所

次長兼支所長 門脇 美以子
(かくのだて桜苑より)

●総務課

総務課長兼地域福祉総合担当
門脇 由香子 (西木支所より)

《採用》

正職員 (十月一日付)
角館ヘルパーステーション
ホームヘルパー・サービス提供
責任者 皆川 さつき
ホームヘルパー 金丸 彩

●角館寿楽荘

主事・会計職員 草 礪 正江
支援員兼介護職員 千葉 俊一

●かくのだて桜苑

介護職員 齊藤 留里子
介護職員 三浦 里美

●契約職員 (十月一日付)

かくのだて桜苑
介護職員 猪本 美奈子

●田沢湖デイサービスセンター

介護職員 清水 恵美子

●パート (七月～十月採用)

角館ヘルパーステーション
ホームヘルパー 佐藤 智子

●田沢湖デイサービスセンター

介護職員 佐々木 美和子
介護職員 加藤 陽子

●かくのだて桜苑

管理栄養士 信田 愛弥
介護職員 小松 伊保子
業務員 佐々木 稔

●にこにここども園

保育教諭 門脇 映彩

《発令》(八月一日付)

仙北市ボランティアセンター
ボランティアコーディネーター
武蔵 弘康 (総務課)
佐藤 雅範 (角館支所)
門脇 正平 (角館支所)
小林 傑 (田沢湖支所)
赤上 尊人 (西木支所)

フードドライブ活動にご協力ください

フードドライブとは、いただきものや買すぎてしまったもの、何らかの理由で流通にのらない食品を、フードバンクなどを通じて地域の生活困窮者や児童・障がい者施設などに寄付する活動です。

ご家庭で不要な食品があれば、ぜひご寄贈くださるようお願いいたします

ご提供いただきたい食品例

- 穀類 (お米・麺類・小麦粉など)
- 調味料
- 保存食品 (缶詰など)、お菓子類
- インスタント食品
- のり、お茶漬け、ふりかけ
- お茶、珈琲、紅茶
- 贈答品 (お歳暮、お中元、引き出物など)
- 粉ミルク、離乳食

開催期間 平成29年10月16日(月)～11月15日(水)
平成30年 2月15日(木)～ 3月15日(木)

受取窓口 ☆仙北市社会福祉協議会各支所
☆仙北市役所社会福祉課及び各地域センター
☆田沢・神代・桧木内・上桧木内の各出張所

仙北市ボランティアまつり

- 日時 平成29年10月28日(土)
午前10時00分～
- 会場 角館交流センター
- 内容 ●日本赤十字社秋田県支部の講師による講話
●地域の皆さんによるアトラクション

秋田県大雨災害義援金

日本赤十字社秋田県支部が実施した、「秋田県大雨災害義援金」にご協力いただいた方々は次のとおりです。
寄せられた義援金は、日本赤十字社秋田県支部へ送金しました。被災地の支援に活用されます。
ご協力に、厚くお礼申し上げます。

- 角館町赤十字奉仕団
- 角館町中川婦人会有志



この広報は赤い羽根共同募金の配分金を使用しています。

お問い合わせ ぜひホームページもご覧ください

社会福祉法人 仙北市社会福祉協議会

仙北市社協

検索

本 所	仙北市角館町小勝田間野54-5	☎0187-52-1624
角館支所	仙北市角館町小勝田間野54-5	☎0187-54-2493
田沢湖支所	仙北市田沢湖生保内字宮ノ後39	☎0187-43-1368
西木支所	仙北市西木町桧木内字高屋110-2	☎0187-48-2940

